

# 法政大学第一高等学校同窓会報

発行所 法政大学第一高等学校同窓会 電話 0422-22-8131(代)  
発行人 川城 官工門 東京都杉並区下高井戸 5-7-22  
(題字は馬場校長筆) 昭和63年10月15日(出) 第14号

本会は母校の発展を願う卒業生が相互の親睦を密にはかり連絡を密にし、互助の実をあげることを目的とする。(規約第2条)

昭和63年度

## 方針とご挨拶

会長 野村 光一



会員の皆様にはご健勝のことにてご活躍のご同慶に存じます。

長かった梅雨も明けました。熱帯低気圧の到来となり雨続きの夏となりました。そのさなか甲子園では高校野球の熱戦がくり広げられ若人の血をたぎらせました。思い出せば母校の昭和59年の春夏連続出場、わきにわいた応援なつかしい思い出として強く残っております。

昭和63年度同窓会総会の開催  
○日時 昭和63年11月6日

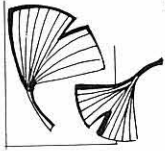
(巨) 午後一時

○会場 法政一高 50周年記念会館

2. 任期満了に伴う役員改選  
○ 選挙委員の選出と役員候補者の決定、ならびに改選  
3. 昭和63年度同窓会々報の発行

4. 同窓会名簿の完全販売  
5. その他  
昭和63年度会員総会では50周年記念総会以後2年を経過しますが、時の経つのは早いもので「光陰矢の如し」とはまさにこのことのようにです。

来る11月6日(日)には一人でも多くの会員のご参加を得て、楽しい会員総会にたしたく思いますので万障お繰り合わせのうえご出席下さるようご協力のほどお願いいたします。  
会員の皆さんの活躍とご繁栄を祈念申し上げご挨拶いたします。



名誉会長 馬場 昌平



## 今後の学校の進むべき方向

進むべき方向

一昨年、わが校は創立50周年を迎えました。同窓会やPTAのご協力を得て、主として、今後の学校の新しい展望をひらき基礎固めに力を尽くしました。幸い、いくつかの計画は着実に実現し、残された課題も目下、その方向を切り開きつつあります。

50周年記念事業の一環として進められた建設計画の中で、「記念会館」は当年に完成して、現在、生徒の選択授業、PTAの諸活動、教養文化講座の講座活動にフルに活用されています。その利用度は予想をはるかに上回るものでした。

建設計画の中で残されたものは「特別教室棟」ですが、現在、新たに建設委員会が作られ、専門のコンサルタントと相談しながら、将来の学校像を描きつつ、当面、英語の特別教室や数学のコンピューター教室を中心とする建設計画を練っています。計画として

ては昭和64年度に着工予定定ています。今後の情報化社会、国際化社会を予想して、この方面の教育の充実をいっそう計る必要があります。

同じく記念事業の一つとして進められてきた国際交流は、着実に前進しつつあります。既に、ラグビー部のニュージーランド、オーストラリア遠征は昨年で3回目を数えました。この3月には、生徒会のメンバーが交流校のケルストン高校を訪れて、文化交流を果たしています。この12月には、ケルストン校・パーティの3回目の来日を迎えます。さらに、来年、イギリスの名門校・ポクリントン校の国際サマーキャンプに、生徒を参加させる準備を今、進めております。その他、昨年ラグビーがお世話になったメルボルン・グラマースクールの英語の先生が、この9月に来日され、本校の教養文化講座の英会話を担当することになっています。このように、国際化社会に向けて、わが校も交流の門戸を大いに広げつつあります。

次に、地域社会との結びつきを考慮して、この武蔵野市にしっかりとこの地盤を築くことを目的の一つにした教養文化講座も、50周年を機に毎年、盛んになっています。

現在8講座、延べ二百数十名の受講生が熱心に参加しています。受講生はPTAの会員のみならず、卒業生父母、同窓生、一般市民も加わっています。昨年は、教養文化講座とPTAの共催で、パイプオルガンの演奏会、車人形の公演会が催されましたが、今年の秋には、この3月に入手した世界的名機・ベゼンドゥルフアーの披露を兼ねて、深沢亮子さんを招いて、最初のピアノ演奏会を開くことになっています。文化活動の面でも、学校の活動領域を広げつつあります。

学校としてもっとも重要な部門は、言うまでもなく教育活動にありますが、こちらは息の長い活動分野です。私達は50年の伝統を踏まえ、時代

## 「会員総会」を前に

### クラス委員会開催

の潮流に対応しながら、教育の本道をあくまで堅持して進もうとしています。少し長い目で見れば、着実な歩みを持つことができます。私達が今、掴みつつある方向は、徹頭徹尾、生徒の内面の意欲・要求に眼をそそぎ、これに依拠して、人間としての全面的な発達をはかるということです。そのためには、何よりも生徒の創造活動が重視されなければなりません。この方向は人類の発展、わが校の長い伝統や実情にも合致して、この方向がいつそう具体性を帯び、確実な成果をもたらすものと確信しています。

本年は、恒例により「会員総会」の年にあたり、その準備推進のため、去る7月29日(金)午後6時から、四谷駅前の主婦会館においてクラス委員会が開催された。当日は、母校法政一高から馬場昌平校長出席のもと提案事項について熱心な審議が行われた。

- 当日の出発者はつぎのとおり。  
(敬称略) (中) 大木、(中) 前田、(中) 神宮、(中) 大石、(中) 中山、(中) 串田、(中) 片庭、(中) 片岡、(商) 田中、(上) 田、(商) 藤、(商) 西田、(商) 野村、(高) 奥田、(高) 鈴木、(高) 黒沢、(高) 泉、(高) 奥野、(高) 渡辺、(秋) 山口、(高) 筒井、(高) 若山、(高) 川城、(高) 小野里、(高) 鈴木、(高) 坂村、(高) 野口、(高) 田中、(高) 古山、(高) 田代、(高) 島田、(高) 吉野、(高) 平本、(高) 田中、計36名  
大石総務委員長の司会によ



### 第3回付属高校同窓会

#### 役員懇親会開催

広報委員長 川城官工門

昭和63年2月6日(火)午後6時より、J.R品川駅前的高輪プリンスホテル「高麗亭」において法政大学付属高校(法政一高、法政二高、法政女子校、法政第一工業高)の同窓会役員の懇親会が開催されました。

今回は女子高が幹事校となり、近藤会長の司会で進められ、自己紹介のあと各校同窓会の運営状況等が報告され、付属高校同窓会を継続することにより絆を益々強固にしていくことを願って相互に協力していくことを申し合せました。

情報交換として、各校の同窓会の事業内容、組織関係、会報の発行、会費の徴収等多岐にわたり活発な意見がかわされました。

また役員懇親会のあり方として、もっと幅を広げた活動を行い、各校共催の行事、例えば講演会等を実施したらどうかとの積極的な意見が出されました。

次回の幹事校は工業高で、昭和64年2月中旬を目途として開催することになり、来年の再会を約し散会となりました。

当日の出席者(敬称略)  
(一高) 野村光一、前田賢文



二、金子重雄、畔柳正盛(女子高) 近藤静子、館野道子、三浦幹枝、中溝秋明 荒井仁子

### 東儀弥彦先生 喜寿のお祝

#### 喜寿のお祝

東儀弥彦先生(国語、習字)の喜寿のお祝が8月20日(土)日黒の香港園に80数名が集い盛大に行われました。

法政一高からは、中学6期卒・高校2期卒の47名の教え子である演劇、舞踊の関係者の方々が、先生のお人柄を慕って出席され、77才のお誕生日を共にお祝しました。

東儀先生から「私は戦争中に法政中学で教えることになりましたが、習字は姉より教わり本当は絵画の方を得意としていました。

最近フランス、アメリカで個展を開き好評を戴き、その時の関係者の方々の後押で64年にはニューヨークでつぎの個展を開くことになっていました。演劇評論も歌舞伎や舞踊その他の分野にも広がっております。喜寿の祝いよりも米寿の祝いにお集り戴くつもりでしたが、最近右手先が少し痺れ筆を持つのも不安になってきました所なので……。今日皆さんにお集り戴き嬉しく思っております」との挨拶と近況のお話がありました。

終戦後のあの瘦せた三角(失礼します)のお顔が今ではふくよかな艶のある和服姿もキリリとした元気なベイスさんになっておられました。そう言えばよく麻雀に誘わ

れたことも今となってはよい思い出です。

時間がたつにつれて各デパートでは話がはずみ賑かなパーティーとなりました。その中で硬式野球部OB(木場、手塚)による創部50周年記念式典(11月23日(水)の開催、またテニス部OB(須原、朝井)による会合の計画等の話が出され、久しぶりに顔を合わせたOBの連帯感



が盛り上がるひと幕もありました。終宴にあたり榎原 実君から東儀先生にお祝の目録をお贈りして、先生のこれからの活躍とご健康を願い、有意義な楽しいひと時を過ごしました。(高校2期 鈴木嘉能記)

### 昭和63年度 教養文化講座の開講に当って

#### 校長 馬場 昌平

昭和60年度から私達の学校の教養文化講座を開講して以来、3年経ちました。この間、各年度とも、次第に充実し、昨年度は、藤原(一)先生の「エッセイ教室」始め8講座、延べ37名の受講生の方が、熱心に参加されました。また、7月には「パイオルガン演奏会」、10月には「軍人形公演会」が開かれ、大変な好評を博しました。

私達の教養文化講座は発足以来、受講生の代表から成る「運営委員会」を中心に、自主的に運営されてきましたが、何よりよくそれが定着して、何よりも受講生のご希望に沿った活動が展開されるようになりました。今年度はとくに、受講生の皆さんがいつそう主体的に参加できるように、各講座で工夫を凝らし、何らかの形で表現活動、創造活動を実施させて、さらに受講生同志の交流をより緊密なものにしてきたいと考えております。

今年から講座では新たに「英会話教室」を設ける予定です。行事としては、夏に「なす・シルクロード博覧学会」を、秋に記念館内に新たに設置される最高級のピアノ・ベーゼンドルファーの披露を兼ねて、演奏会を予定してい

ます。今年度もPTA会員、卒業生父母、地元の方々が大勢参加下さることを期待しております。

英会話教室  
文字通り、日本にも国際化の波がひたひたと押し寄せています。これから若い人は言うに及ばず、多くの人が外国の人と接する機会が増えることでしょう。

私達の教養文化講座も、初めて英会話教室を設けることになりました。講師は、昨年のわが校のラグビー部遠征団がオーストラリアを訪れた時に世話になった、メルボルン・グラマースクールの英語の先生である、テイラー先生(前期)、もう一人は昨年来、生徒の英会話特別教室を担当して下さっているブラウ先生(後期)。いずれも、経験豊かな超ベテランの先生です。

初めて英会話を学ぶ方、少しプラッシュ・アップしたい方を対象として、一人一人が簡単な会話が交わせることをめざして、それぞれ小人数制による3ヶ月間の集中講座を開きます。どうぞご期待下さい。

※二面七段より続く  
るが、掲載記事等について皆様のご協力をお願いしたい旨の要請があった。

(2)同窓会名簿の販売について  
秋口名簿編集委員長からクラス会等の集りのときPRして販売の促進をはかってほしいとの要請があった。

#### お知らせ

新版「同窓会名簿」の購入申込みを受けましたのを受けています。残り少なくなりまので未購入の方は至急お申込み下さい。

価格 1,500円(送料込み)

申込先 秋口正徳(名簿編集委員長)

住所 〒166 杉並区成田東1-42-7

TEL 03-311-0606

### 硬式野球部創部50周年 記念祝賀会開催

日時 昭和63年11月23日(水)  
 (勤労感謝の日)  
 午後一時より開催  
 (式典及び懇親パ  
 ティー)

場所 法政一高50周年記念  
 会館  
 武蔵野市吉祥寺東町  
 3-5-17  
 ☎0422  
 (2)8131  
 (協賛金納入者に5  
 千円相当のB5版美  
 装50部限定本「50年  
 史」を贈呈

昭和63年夏の西東京大会は、みなさまのご声援にもかかわらず、残念ながら5回戦で敗れ、準々決勝進出は成りませんでした。みなさまのご声援、心から厚く御礼申し上げます。さて、私たちが硬式野球部は昭和13年に創部され今年で50周年を迎えました。この間、戦中、戦後の時代を乗り越え半世紀を過ぎ、今日の隆盛を見るにいたりました。昭和59年春・夏連続甲子園出場場の快挙は、その一つの象徴でありました。これもひとえに、私たちの学校を愛し、支えてくださいました方々のご支援による賜ものと、深く感謝いたしております。私たちが

は、これを機会に更なる発展を期し、来年に向けて大きな飛躍を遂げることができまよう願ひ、50周年の記念式典と懇親パーティーを開催することにいたしました。その際、この50周年を単なるお祭りではなく、今迄築き上げてきた野球部50年のあゆみを、「50年史」として残しておこうという皆さまの要望もあり、「50年史」の作成にとりかかりました。さいわい昭和13年創部当時のOBの方々も健在で、当時の写真など貴重な資料が戦禍をまぬがれ保存されておりました。このことに私たちも元気づけられ、11月23日までに完成させるべく、実行委員総出で編集に努力いたしております。一般の方々もご参加できますので、同窓生おさそいあわせ、お気軽にお出かけください。  
 (同窓会総務委員長、野球部OB会副会長 大石勝康)

### スポーツ新聞の記事から

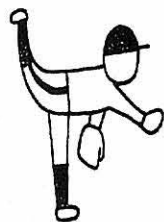
昭和63年7月26日(火)のスポーツニッポン紙の連載記事「MY熱球譜」に、甲子園担当記者(58年〜60年の間)が、その間で、最も印象的な試合として、59年夏の大会第1回戦「法政一」境「を思い出として語っています。  
 われわれ同窓生としても、忘れられない一戦であり、ナマの取材記事として転載させていただきます。

### 59年法政一高の劇的アーチ



五十八年から六十年まで通算で6回取材した甲子園の中で最も印象的な試合はと聞かれれば、私は迷うことなく五十九年夏の一回戦「法政一」境「だと答える。西東京の代表・法政一は私にとっても好きなチームだった。最大の理由は下手投げエース・岡野敬徳投手の超スローボールにあった。これは本当に愉快なボールで、特に遅いときの球速は70km/hだったと記憶している。

試合は岡野と境・安部伸一投手との投げ合いで0-0のまま延長戦へ。スタンドは単なる白熱した投手戦以上の、異様なムードにつ



### 延長10回初のヒットが…… 末野の一打に震えた



つまれていた。というのは境の安部がノーヒットノーランを続けていたからである。延長十回裏、法政一の攻撃は簡単に二死となり、いったい安部のノーヒットは何回まで続くのかと、誰もがそのことだけに関心を集中し始めた、まさにその時だった。三番の末野芳樹捕手が、高めに来た

初球を叩くと、打球は左中間スタンドへ消えた。法政一の初ヒットは、サヨナラ本塁打となったのである。お立ち台上がった末野の興奮ぶりは、大げさに言えば私の魂を揺さぶった。手足がガタガタと震え、号泣している子供のよう、泣いている子供のように、途切れ途切れにしか話せなかった。30秒くらいの至近距離でその様子を見つめながら、私は、この興奮をどう伝えたいのだろうと、身のすくむ思いだった。

殊勲者・末野を迎えるサイン

甲子園はいくつもの劇的なドラマを見せつけてくれたけれど、あの一戦が最も忘れ難いのは「青春」とか「汗と涙」とか、そんな手あかのついたイメージを超越した、スポーツならではの感動がそこにあったからだと思う。

(小川 勝)

夏の高校野球―東京大会「西東京大会」惜しくもベスト8進出ならず

第70回全国高等学校野球選手権の東京大会が7月13日(水)開幕、神宮球場の合同開会式では、東京、西東京両地区から昨年の参加校を上回る2校が参加、甲子園へ向けて熱戦の火ぶたがきられた。母校一高は、西東京大会の2回戦から登場、堅い守りの投手力、好調な打線、チャンスに強いチーム力をもって4回戦まで順調に勝ち進んだが、5回戦ではシード校の日大鶴ヶ丘に7回コールド負けをきつし、ベスト8進出を果せず涙をのんだ。  
 ここ数年の間に、出場のたびに期待をかけ、また期待に応えられるチーム力が備ってきたように思われます。監督ならびに選手の皆様にご苦労様でした。今後の躍進に期待しております。

### 試合結果

- (2回戦) 法政一2―1都 館
- (3回戦) 法政一9―2都府中工
- (8回コールド)
- (4回戦)
- (5回戦) 法政一5―1都富士森
- (7回コールド)

# 昭和62年度決算ならび 63年度予算作成に際して

副会長 大木 興

母校創立50周年記念祝典が  
開催されたのがついでこの間の  
様な気がしていたが早くも2  
年が経過しました。その間新  
設の記念会館も大いに活用法  
が、特に注目されるのは好評

のうちに続けられている教養  
文化講座です。部内はもとよ  
り地域の人々にも広く知られ  
ており、8月初旬には奈良シ  
ルクロード博の見学会が催さ  
れ成功を収めています。  
さて、昭和62年度決算での  
大きな特徴は、同窓会が年来  
の課題であった会員住所録の  
ワープロ化が実現出来たこと

です。即ちワープロ化の導入  
により従来から手間のかかっ  
ていた宛名関連の作業が大幅  
に簡素化、迅速化され労力と  
経費の節減がなされました。  
また今後は、新卒業生が果立  
ち同窓会員が増えることに入  
力されその効果が大きい期待  
されます。乏しい財源のなか  
で今回の思い切った措置がと

れたのは、勿論50周年記念総  
会が盛会であったことが寄与  
しており、また会員各位なら  
びに事務局のご理解とご協力  
のたまものと思っております。  
昭和63年度予算においては  
今秋開催される総会の収支を  
見込んだものとなっております。  
最後に特にクラス会幹事の

諸兄にお願いがあります。そ  
れはクラス会開催の折、会費  
に同窓会年会費の一口100円を  
上のせて戴きたいのです。  
そしてお手数ですが集金した  
ものに出席者リストを添えて  
同窓会事務局に送金して戴く  
ようお願いいたします。これ  
までもご協力戴いているク  
ラスもありますが、何卒同窓

会員諸兄の一層のご協力をお  
願いする次第です。  
(財務担当)



## 昭和62年度 収支決算書(案)

(62.4.1~63.3.31)

法政大学第一高等学校同窓会

| 収 入 の 部 |         |           |           |          |            |
|---------|---------|-----------|-----------|----------|------------|
| 款       | 項       | 予算額       | 決算額       | 差 異      | 備 考        |
| 繰越金     |         | 3,311,106 | 3,311,106 | 0        |            |
| 会 費     |         | 1,248,000 | 1,315,000 | △ 67,000 |            |
| (イ)     | 入 会 費   | 762,000   | 760,000   | 2,000    | @2,000×380 |
| (ロ)     | 一 般 会 費 | 381,000   | 380,000   | 1,000    | @1,000×380 |
| (ハ)     | 年 会 費   | 35,000    | 64,000    | △ 29,000 |            |
| (ニ)     | その他会費   | 70,000    | 111,000   | △ 41,000 |            |
| 雑       | 収 入     | 50,000    | 37,625    | 12,375   |            |
| 繰入金     |         | 0         | 0         | 0        |            |
|         | 繰 入 金   | 0         | 0         | 0        |            |
|         | 計       | 4,609,106 | 4,663,731 | △ 54,625 |            |

| 支 出 の 部 |       |           |           |           |     |
|---------|-------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 款       | 項     | 予算額       | 決算額       | 差 異       | 備 考 |
| 経常費     |       | 875,000   | 967,300   | △ 92,300  |     |
|         | 学校協力費 | 200,000   | 206,700   | △ 6,700   |     |
|         | 会 議 費 | 150,000   | 218,100   | △ 68,100  |     |
|         | 組織活動費 | 10,000    | 0         | 10,000    |     |
|         | 印 刷 費 | 80,000    | 131,700   | △ 51,700  |     |
|         | 通 信 費 | 100,000   | 66,480    | 33,520    |     |
|         | 人 件 費 | 315,000   | 315,000   | 0         |     |
|         | 事務用品費 | 0         | 24,100    | △ 24,100  |     |
|         | 雑 費   | 20,000    | 5,220     | 14,780    |     |
| 事業費     |       | 1,035,000 | 1,500,950 | △ 465,950 |     |
|         | 会報発行費 | 1,000,000 | 1,500,950 | △ 500,950 |     |
|         | 総 会 費 | 35,000    | 0         | 35,000    |     |
| 予備費     |       | 100,000   | 0         | 100,000   |     |
|         | 予 備 費 | 100,000   | 0         | 100,000   |     |
| 小 計     |       | 2,010,000 | 2,468,250 | △ 458,250 |     |
| 次年度繰越金  |       | 2,599,106 | 2,195,481 | 403,625   |     |
| 合 計     |       | 4,609,106 | 4,663,731 | △ 54,625  |     |

## 昭和63年度 収支予算書(案)

(63.4.1~64.3.31)

法政大学第一高等学校同窓会

| 収 入 の 部 |         |           |                 |             |  |
|---------|---------|-----------|-----------------|-------------|--|
| 款       | 項       | 予算額       | 内 訳             |             |  |
| 繰越金     |         | 2,195,481 |                 |             |  |
| 会 費     |         | 1,449,000 |                 |             |  |
| (イ)     | 入 会 費   | 726,000   | (イ) 新卒業生入会金     | 363×@2,000  |  |
| (ロ)     | 一 般 会 費 | 363,000   | (ロ) 新卒業生年会費     | 363×@1,000  |  |
| (ハ)     | 年 会 費   | 300,000   | (ハ) 会員口数年会費     | 300口×@1,000 |  |
| (ニ)     | その他会費   | 60,000    | (ニ) 会議開催時出席者負担金 | 30名×@2,000  |  |
| 雑       | 収 入     | 50,000    | 利息、その他          |             |  |
| 繰入金     |         | 2,100,000 |                 |             |  |
|         | 繰 入 金   | 2,100,000 | (ホ) 総会会費        | 300名×7,000  |  |
|         | 計       | 5,794,481 |                 |             |  |

| 支 出 の 部 |       |           |                         |             |  |
|---------|-------|-----------|-------------------------|-------------|--|
| 款       | 項     | 予算額       | 内 訳                     |             |  |
| 経常費     |       | 1,170,000 |                         |             |  |
| (イ)     | 学校協力費 | 210,000   | (イ) 学校主催行事、生徒部活動等       |             |  |
| (ロ)     | 会 議 費 | 400,000   | (ロ) 委員総会、役員会、各役員会、会計監査等 |             |  |
| (ハ)     | 組織活動費 | 10,000    | (ハ) 同窓会の組織強化整備に関わるもの    |             |  |
| (ニ)     | 印 刷 費 | 120,000   | (ニ) 決算、予算、一般会議資料の印刷費    |             |  |
| (ホ)     | 通 信 費 | 50,000    | (ホ) 会議開催通知、資料送付等        |             |  |
| (ヘ)     | 人 件 費 | 345,000   | (ヘ) 事務局員謝礼              |             |  |
| (ト)     | 事務用品費 | 15,000    | (ト) 事務用品等               |             |  |
| (チ)     | 雑 費   | 20,000    | (チ) 慶弔費及び振込手数料等         |             |  |
| 事業費     |       | 2,700,000 |                         |             |  |
| (イ)     | 会報発行費 | 1,200,000 | (イ) 定期発行一回分を見込む         |             |  |
| (ロ)     | 総 会 費 | 1,500,000 | (ロ) 総会同窓会負担分            | 300名×@5,000 |  |
| 予備費     |       | 100,000   |                         |             |  |
|         | 予 備 費 | 100,000   |                         |             |  |
| 小 計     |       | 3,970,000 |                         |             |  |
| 次年度繰越金  |       | 1,824,481 |                         |             |  |
| 合 計     |       | 5,794,481 |                         |             |  |

法政一中高小史 4

3、成長期

学園の復興期は戦後の10年をもつて劇的に目くくられた。以後の20余年は日本経済の高度成長と軌を一にするこの間、図書館棟(32年)・理科棟・高校棟(39年)・体育館(46年)・プール(52年)と施設の拡充をみ、それに伴って新しい皮袋には新しい酒を、という共鳴音が鳴りひびいていくのは当然の成り行きであった。

まず民間教育運動では数学科が主体的に取り組んだ数教協の活躍が目立った、その他、日本文学会、歴教協、科教協、地教研などサークル活動の輪が大きく広がりがつあった。科教協の中心的組織者に林淳一(東京歯科大教授)が名を運ねたのもこのころのことである。さらに個人的活動としては示現会における吉野興博(美術)、上杉吉昭(美術)らの人材がそれぞれの才能を発揮しはじめた。それは学校の組織的な運動として昇華をみるまでには至らなかったが、新しい教育体制のレールづくりには役立った。加えて組合主催の文化講演会が34年の松本新八郎(荘園について)・(ただし名目的主催は東京私中高協)を皮切りに、堀真琴「安保について」・田中惣五郎「日本のファシスト北一輝について」など以後、数

年にわたり、数科教育(数学の遠山啓、社会の大槻健、国語の益田一美などを招く)についての研究会は教育を科学的につくりかえていくための社会的視野を広げる重要な布石となった。すでにカリキュラムの自主編成をめざす試みは、安保闘争時の35年に、吉田・松尾・永田・小林・伊藤・岩上・遠山らを中心にキエラム研究会の発足に駆りたてていた(現組織、教育研究委員会)。それと相俟って学内の新機構づくりが模索された。同年末にはかなり形式的ではあったが、長嶋・知和・寺本・江口・関口・長妻・立花らが運営委員として校長の諮問に当たることになった。公選による運営委員長は38年に寺本隆雄、39年に長妻克己の実現をみた。39年には調査部・生活指導研究委員会・図書委員会・校舎校地利用委員会・教科会・学年会・生徒会指導部・保健部・事務局の組織分担任確になり、現行組織のいわばルーツともいうべきものが形をとりつつあった。

さらに同年8月に多摩御岳の宿坊において第1回めの全学的教研集を開き、「(1)基本的人権の尊重に根ざし、平和にして民主的な社会を構成し、その社会の一員として自主的に活動できるような人間を育てる。(2)そのため高い学力と豊かな個性を身につけ、正しい科学観・芸術観に根ざし、高い知性に支えられ、強健な身体をもち、行動できるように人間を育てる」の教育目標を全会一致で決めた。運営委員会制度はその後一時空白期をもったが、43年長期委員会(伊藤・斎藤勇・新谷・知和・村尾)によつて学校運営の再組織化が検討された。46年に瀧沢校長が引退し、安光功が公選による初の校長となり、実質的な運営委員会と現行組織体制がほぼ定着性をみた。現在に至るまでの運営委員のメンバーは次の人たちである。(斎藤武・由井・中川・矢口・万代・瀧口・山上・福島・明石・塗谷・知和・飯郷・遠山・小林・村尾) 51年、二高から馬場昌平が学校長として迎えられた。海軍兵学校廃校後数年間の雲水生活をへて東大印哲を出た異色の校長は、「教師の生活も川の渡し守のようなもので渡しては帰る、渡しては帰るといふ、そういう生き方ですから……」と淡々と述べたあと、「自主的で自律性をもつた生徒をどのように育てるか」という課題をきわめて具体的な問題としてPTAに投げかけた。それはまたこれまでもの中・高の求め続けてきた課題と合致するものであった。

63年度入学者状況

Table with columns for 中学校 and 高等学校, including sub-columns for 募集人員, 志願者, 受験者, (欠席者), 合格者, 手続完了者, 登校者数, 入学者数.

62年度進路状況

Table for 62年度進路状況, including 中学校 and 高等学校 sections with columns for 卒業生総数, 進路内訳, and %.

法政大学1部への推薦内訳

Table showing recommendation breakdown for Faculty 1, with columns for 法政, 経済, 工機, 文系, etc.

編集後記

記録的な大雨に見舞われ、季節のけじめがつかないまま夏が去り、澄みきった青空の9月を期待しましたが、長雨のため、空しい願望と長いソウルのおりんピックが連日好天に恵まれ、TVで12年振りの東西対決を堪能出来たことではないでしょうか。 同窓生の皆さんには、ご健勝にて、ご活躍のことと思います。 ▼会報第14号をお届けいたします。今号掲載の記事は、62年度が母校の50周年に伴う学校及び同窓会の記念事業を遂行し一段落した時期にあたり、その内容も平常の活動状況が主となっています。 ▼11月6日(日)には、総会が開催されます。同窓会会員の住所も年々明確になり、増々組織的な運営の必要性が高まってきました。組織の中心核であるクラス委員の皆さんの働きかけがない限り、総会の出席者は増えません。連絡先が分っていない方には、ぜひとも一報を入れて戴き総会への出席を呼びかけてください。▼硬式野球部創部50周年おめでとうございます。増々連帯の絆を強めて、今後とも発展されるよう祈っております。▼皆様の会報です。ご意見、記事等をご送付ください。 ※送り先▶法政一高同窓会事務局又は、〒188杉並区下高井戸5-17-22 川城官工門宛